

管理番号	産学公記入欄
担当URA	産学公記入欄

職務発明届 特許

記入日	
-----	--

産学公連携センター長 殿

下記の発明をいたしましたので届け出ます。

1. 発明の名称	**の製造装置及び製造方法					
2. 発明者 (学内)	氏名(フリガナ)	所属	E-mail/Tel	教員/学修番号	発明寄与率	
学内代表発明者	みやこ りつたろう	***学部***学科	Miyako*****@tmu.ac.jp	1*****	50%	
	都 立太郎		042-***-****			
学内発明者	たかはし みやこ	***学部***学科	takahashi*****@tmu.ac.jp	2*****	30%	
	高橋 京		042-***-****			
学内発明者	みやこ ろん	***学部***学科	m-ron*****@tmu.ac.jp	3*****	20%	
	宮古 論		042-***-****			
学内発明者	学内の発明者をご記入下さい。		各発明者の発明への寄与率を、合計して100%になるように、ご記入ください。			
学内発明者						
学内発明者						
学内発明者						
学内発明者						
学内発明者	企業や他大学等と共同で出願を希望する場合には「共同」を選択し、本法人に加えて、相手先をご記入ください。		権利持分について、本法人を入れて100%となるようにご記入ください。出願～権利化の費用負担率についてもご記入ください。			
発明者に関する備考欄						
3. 単独/共同	<input type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/> 共同	共同出願の場合	共同出願人名		権利持分	費用負担率
			東京都立大学法人		50%	50%
			University of Miyacoloon		50%	50%
共同出願に関する備考欄	発表や予稿集、論文などによって発明が公開されますと、新規性を喪失し権利化が困難になります。必ずご記入ください。					
4. 発表予定	予稿集の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	予稿集公開日	2021/11/15	発表先	日本マシン・マニュファクチャリング学会2021年大会
					発表日	2021/12/5
5. 発明の創出に使用した研究費	<input type="checkbox"/> 当校費 <input type="checkbox"/> 共同研究費 <input type="checkbox"/> 受託研究費 <input type="checkbox"/> 特定研究寄付金 <input type="checkbox"/> 科研費 <input checked="" type="checkbox"/> 競争的資金(科研費以外) <input type="checkbox"/> その他()					
	競争的資金の場合 事業名	平成▲▲年度○○○機構「*****プロジェクト/研究開発項目1(10)新世代*****技術開発/*****技術の研究開発」				
6. 外国出願の希望	<input type="checkbox"/> 希望する *外国出願は、原則JST権利化支援事業に申請し、採択を受けた場合のみ行います。 <input checked="" type="checkbox"/> 希望しない 「希望する」と選択された案件については、担当者からJST申請要否の確認の連絡を差し上げます。					

管理番号	産学公記入欄
------	--------

7. 技術内容	【発明の概要】		
	本発明は、****の装置（システム）及び****製造方法に関するものである。		
	【ご存じの先行技術文献】		
	先行技術文献1. **** 先行技術文献2. **** 先行技術文献3. ****		
	【先行技術との相違点】		
従来の製造方法は****である（先行技術文献1）。また、****という方法もある（先行技術文献2）。さらに近年は****という方法も使用されている（先行技術文献3）。これに対して、本発明は、****である。したがって本発明は、これらの先行技術と****という点で相違する。			
【先行技術と比較した本発明の効果】			
本発明は、先行技術とは異なる****という構成、また****という工程を有することによって、****という顕著な効果を奏する。			
【権利取得したいポイント／範囲】			
装置（物）の発明の特徴としては、****部を水平方向と垂直方向とに複数配置した構造と、****表面構造との組み合わせが、従来よりも顕著な効果を生み出す要因だと考えている。そのためこの配置と表面構造という特徴の権利化は必須としたい。 権利範囲だが、 第一希望は、これらの組み合わせのみの特徴、 第二希望は、****部を水平方向に****個、垂直方向に****個配置し、図1の通りとする特徴、 第三希望は、表面構造の最大深さを50nm～1μmの範囲としたい（50～100nmの構成で顕著な効果を奏しているが、製造コストを鑑みると1μmまで範囲を広げたい）。 また、製造方法の発明では、製造工程A、B、C、Dのうち、特に工程A、工程Bにより最も顕著な効果を得られている。今後、工程Aを改良することによって、さらに高品質の装置が製造できる可能性があるため、方法発明としても権利化したい。			
実施許諾先や共同研究先等を探索するため、各種展示会や技術説明会等のイベントにて本法人の発明として広報します。この発明を実施したいという企業等からの打診が既にある場合は「同意しない」を選択してください。			
8. 産学官イベント等での広報	<input type="checkbox"/> 同意する <input checked="" type="checkbox"/> 同意しない	同意しない場合 その理由	既に企業から実施許諾契約を結びたいとの連絡を受けているため
9. 発明の実施先について	<input type="checkbox"/> 共同研究先が実施する予定 <input checked="" type="checkbox"/> 企業から実施希望を打診された / 実施先候補を挙げることができる	実施（候補）企業名	(株) MIYAKO-TORITSU